



水キラキラ 町いきいき入善

議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NIUZEN

No. 136

2006年1月27日



「天までとどけ みんなの願い」左義長（浦山新）

12
月
定
例
会

入善スマート / C新潟方面も整備 2 P

入善浄化センターに風力発電 3 P

町政を問う 代表・一般質問（9議員） 5 P

入善町に移り住んで・入善のむかし話 14 P

ホームページでもご覧になれます。 <http://www.town.nyuzen.toyama.jp/>

入善スマートインターチェンジ 新潟方面へも整備

補正予算の概要

一般会計

スマートIC整備に
3億9052万円

スマートICの社会実験は現在富山方面のみで行われているが、恒久的な設置を目指し、新潟方面への実験に向けた整備を行う。

アスベスト除去対策に

1400万円

アスベストが使われていた4施設の機械室など、アスベスト除去を行う。

特別会計

汚泥処理施設整備に

3000万円

入善浄化センターの汚泥処理施設の建築工事の一部を17年度で前倒しして行う。

条例の改正など

墓地公園に、新たに139区画が拡張されたことにより、その永代使用料を定めるため入善町上飯野墓地公園条例の一部改正を賛成全員で可決した。

また、スマートICの整備を行うために、進入路の2路線を新たに町道として認定した。

12月議会は、6日から16日までの11日間開会し、町長から提案のあった一般会計などの補正予算4件、入善町上飯野墓地公園条例の一部改正などの議案3件、工事の委託契約、町道の認定、人権擁護委員候補者の推薦を審議し、すべて可決した。なお今回の一般会計補正額は5億1149万円、特別会計補正額は2億3123万円である。

また、請願2件、陳情2件を審査したほか、9日、12日の2日間にわたり代表・一般質問が行われ、9人の議員が質問に立ち、論戦が交わされた。



富山方面への大型車乗入れ（スマートIC）

請願・陳情

◎ 学校給食は民間委託などではなく直営自校方式の継続を求める請願書

請願者 学校給食を考える会

子どもたちの成長を支えるため、これからも優れた直営自校方式の学校給食の継続を求める。

継続審査とした

◎ 国民の食糧と健康、地域農業を守ることを求める請願書

請願者 国民の食糧と健康を守る運動

富山県連絡会

地産地消など安全・安心を大事にした国内生産の拡大を求める。

反対多数で不採択とした

◎ 富山県の医療費助成制度の助成水準の「維持」を求める陳情書

陳情者 富山の医療と福祉と年金をよくする会

「県単・医療費助成制度」の助成水準を維持し、窓口無料を継続することなどを求める。

反対多数で不採択とした

◎ 「看護師等の大幅増員と安全・安心の医療を求める」国への意見書採択を求める陳情書

陳情者 富山県医療労働組合連合会

医療・介護を保障するため、医師・看護師などの配置基準を引き上げ、医療・介護労働者の増員を求める。

反対多数で不採択とした

議員提出議案

◎ 一般国道8号（朝日・滑川間）改築工事に関する意見書

国道8号線の改築工事促進に合わせ、入善黒部バイパスの早期整備を国に求める。

賛成全員で可決とした



早期整備がまれる8号バイパス

人権擁護委員候補者の推薦について

3月31日で任期満了となる人権擁護委員候補者の推薦を承認した。



入井 寛 道氏

入善町舟見



上原 達 男氏

入善町神子沢



高 邑 吉 房氏

入善町舟見

風力発電工事の建設を委託

下水道浄化センターの建設工事委託の協定について承認した。

浄化センター海側に、1500KW級の風力発電設備工事を行う。

委託金額 3億9000万円
委託相手 日本下水道事業団

常任委員会レポート

総務

基金繰入金2億5600万円の減額理由は何か

Q 一般会計歳入で、基金繰入れ2億5600万円減額補正の理由は何か。

A 予算の執行段階で経費の節減に努めた結果である。行財政改革による効果と職員全体の意識改革がなされたものと評価している。

Q 転倒予防研究会の全国大会で、町の転倒予防教室発表事例が「奨励賞」を受賞した。その内容は何か。

A 保健師、理学療法士の努力の結果である。京都での発表会で「奨励賞」を受賞し、その奨励金10万円は転倒予防のリハビリ器具の購入に当てた。

こんな意見も

◎ 保育所などのアスベスト除去工事が年度内に完了する予定とのこと。
業者がひっぱりだこのなか、早期の対応を評価する。

産業教育

町営バスの路線変更やダイヤ改正の基準は

Q 町営バスの路線変更やダイヤ改正の基準はあるのか。

A 利用者ニーズを的確に把握し、そのニーズに沿ったきめ細かなサービスを提供できるように努めている。

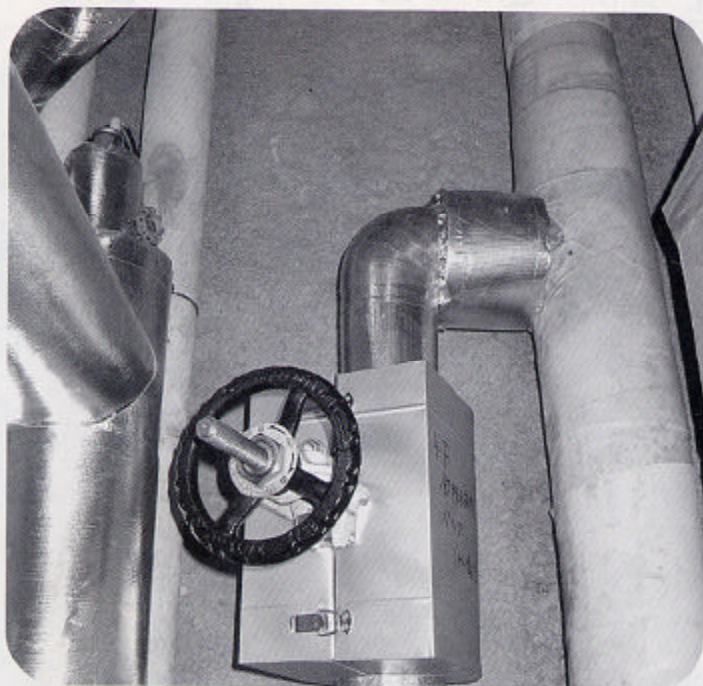
Q 今回の補正で、スマートICは本格実施に向けてと認識しているが、見通しはどうか。

A これまで国土交通省や中日本道路(株)と協議・調整し、ようやく新潟方面の実験にOKがでた。

この投資が最大限活かされ、町の活性化の起爆剤となるよう期待したい。

Q 公共下水道・農業集落排水工事の落札率が97、98%と高止まりになっている。予定価格の公表は正しいのか。

A 予定価格公表は漏洩防止のため、議会と相談して導入した。他の自治体でも公表が増えており、今まで通り進めていきたい。



アスベストが含まれる壁面（役場機械室）



来年度予算の重点施策を示せ

アクセス21 五十里 隆 章 議員

企画財政課長

「うるおい館」の着工や生活基盤整備を行う

問 新年度予算の重点施策を示せ。また財政見直しについてどのように分析しているか。

大木企画財政課長 健全財政の強化を図りつつ、うるおい館（仮称）の着工、黒東小学校の耐震補強などを計画。

また、病後児保育、介護支援事業の充実などを図る。

平成16年度決算ベースでは経常収支比率82・9%、財政力指数0・53であり、県内トップクラスの評価である。

中長期的には、経常収支比率80%以内に抑え、財政力指数は0・6まで引きあげたい。

任期満了を控えて再出馬の意思は

課題が多く全力で町政に取り組む

問 町長は（株）サンリッツの誘致、スマートICの社会

実験など成果をあげられた。平成18年の町長選挙への出馬の意思を明らかにせよ。

米澤町長 厳しい財政環境のなかで、単独町政の方向性を示すなど、喫緊の課題が多い。

まずは、新年度から始まる総合計画の後期計画、それを実行に移す新年度予算編成、スマートICの本格設置など、18年3月まで全力を挙げて取り組む事項や課題が多い。



着々と建設が進むサンリッツの工場

今はこれらのごことに全力を注ぐ所存である。ご理解をお願いしたい。

学校給食と保育所民営化改革にどう取り組むのか

議会、町民、保護者とともに検討したい

問 学校給食と保育所民営化などの重要課題にどう取り組むのか。

町長 17年6月に、町民の代表からなる専門委員会を設置した。12月に中間報告があったところである。

学校給食については、単独調理方式を活かした「共同調理方式の試行」「民間業務委託の試行」の報告を受けた。

保育所運営については、「1小学校下1保育所」「民営化」などの報告を踏まえ、議会、町民、保護者と共に検討

したい。

農業所得安定化対策への取り組みと対応は

担い手育成、後継者づくり、農地整備などを図る

問 新しい経営安定対策にどのように取り組み、対応するのか。

浜田農政課長 9割を占める兼業農家の受け皿として集落営農の組織化や、認定農業者の育成など担い手育成が急務である。

農業の多面的機能も再認識し、地域コミュニティの維持発展につなげたい。

将来を考えれば、新規就農者や農業後継者づくりが重要である。農地の整備など環境整備を図る。

代表質問



学校給食は教育の一環、 予算の削るところを間違えるな

日本共産党 九里 郁子 議員

教育長 委員会の中間報告を尊重したい



学校に地元野菜を届ける農業公社

問 町が、行財政改革のために設置した「学校給食検討委員会」は、12月5日に今の町直営の自校方式を見直し「民間委託で共同方式が望ましい」とする中間報告を町長に提出した。

答 町は「安全・安心を合言葉に取組んでいる今の給食は町の宝。地産地消からも大切」と訴えた。

問 子どものために、予算の削るところを間違ってはならない。学校給食は教育、健康教育の一環であることを再確認すべきだ。

答 調理師は食育の一手を受け持つ教育労働の担い手として、積極的に位置づけよ。

問 町営バスは利用しにくく、せめてあと1台増やせば改善できるのでは。

答 現在、朝日公共バスと町営バスが、朝日町、宇奈月町の一部で相互乗り入れしている。あさひ総合病院への町営バス運行は可能ではないか。

費用の面から難しい

町営バスは、あと1台増やし利用しやすく

認定農家と集落営農との間に問題はないか

町長 民間委託などで約2300万円節減できるが、ただ減らすのではなく、給食なりいろんなところに利用できる。PTAや町民に十分話をしたい。

問 「品目横断的経営安定対策」は、対象を担い手に絞り込むものであり、これで農業は守れるのか。

答 集落営農の組織化と法人化がすすめられているが、認定農家と集落営農との間に問題はないか。将来、集落営農が破綻した場合、農家や土地はどうなるのか。

町長 個別経営体と集落営農組織が、各自の主体性を尊重しつつ、共存の形で営農できることが大切。

町では、農地の集積を望む意欲ある担い手に恵まれており、最悪の事態は免れるものと思っている。



町の将来像と合併の方向性をどう考える

ウォーム入善 本多 幸男 議員

町長

健全財政を維持し、機運を見て合併論議を

問 町民が最も期待する町の将来像と合併の方向性をどのように考えているのか。

町長 全国の3300あった市町村が、1800余りになろうとしている。

また、2500あった町村が1000余りになる。いろいろな考えがあると思

うが、1000もの町村が、

「自己決定、自己責任を負う」ことを決断し、単独での生き残りを選択した。

合併によるメリットも承知しているが、相手がいることである。今後、議会や町民のみなさんと十分協議して対応していく。



今日もおいしい給食（飯野小学校）

新年度予算編成の基本的な考えは

「自助・共助・公助」を推進

問 三位一体の改革が決着したもとで、新年度の予算編成の基本的な考えと、中長期の財政計画を示せ。

町長 効率的な財政運営を進め、改革から生まれる財源を最重要課題に向けるよう指示した。

あれもこれも行政が行うのではなく、町民自ら考え、実践し、それを行政が後押しすることも必要であり、その仕組みづくりに取組みたい。

財政計画は、三位一体の改革、交付税の削減で厳しさを増している。しかし、町は将来見通しを持って財政運営を行っていけば、健全財政を堅

持できると考えている。

悲惨な事件から子どもを守る対策は万全か

町全体で守っていききたい

問 日本中を震撼させている悲惨な事件から、子どもを守る対策は万全か。

教育長 平成16年より、学校安全パトロール隊が結成され、PTA、警察、スクールガードリーダー、地域住民の協力で、校区の見回りを強化している。

子ども110番の家、防犯ブザーの配布などに取組み、校長会や保護者会などで浸透を図っている。

今後とも町民全体で子どもを守っていききたい。

学校給食は自校方式の堅持を

子どもたちのより良い環境のあり方を考えたい

問 入善町で自慢できるのは、何回も大臣表彰を受けている学校給食である。

現在の自校方式を堅持されたい。これは、次代を担う子どもたちへの投資である。

中島総務課長 「学校給食検討委員会」の中間報告が示され、2月に最終報告が予定されている。

これを尊重するとともに、子どもの目線に立って、議会、保護者、町民のみなさんと、次代を担う子どもたちのより良い環境のあり方を考えたい。



人口動向をどうとらえ予算編成を 考えていくのか

谷口一男 議員

町長

「若者の定住促進と人口増対策」 を基本姿勢に

問 単独行政を行っていくなかで、今後の人口動向をどのようにとらえていくのか。

町長 引き続き、事業の重点化を図り、企業誘致や雇用創出、少子化対策、安全・安心のまちづくりなどに取組む。

「若者の定住促進と人口増対策」を重点課題として、地域力の向上を目指す。

問 転入者が増えているが、どこまで把握しているのか。

住民登録、税金徴収、地域住民とのコミュニケーションづくりはどうなっているか。

町長 7年ぶりに転入人口増に転じた。要因は、人材派遣社員、特に外国籍の方々の転入が増えているからだ。

異なる文化や習慣による不安や不信感などを払拭していくことも、人口増対策だ。

相互理解のために、会話教室を開いたり、企業や地域と連携し交流の場を増やしていく。また、ゴミステーションでの複数言語による説明表示にも努める。

問 交流人口を増やすため、魅力あるまちづくりをどう進めるのか。

本多助役 交流の主役は町民であり、町民自身が町を良く

知ること。次に情報発信、交流の仕掛け、交流の場づくりなど段階的に取組む。

問 町内にあるPR看板の修理改修の考えは。

助役 JR沿線のもものは老朽化が進んでいるので、改修に当たる。今後もサイン化計画に基づき整備を進める。

問 役場正面にある「マンダラの塔」の修理の考えは。

助役 前田常作氏の作品で、町のシンボル塔として役目を果たしてきた。改修については十分検討していく。

問 人口増に空き家を利用する考えはないか。

助役 有効活用と人口増対策にホームページで募集してきた。借り手情報はあがるが、貸し手情報は皆無である。

今後民間と行政が共同して対策に取組んでいく。

水路改修の考え方を示せ

土地改良法の下で整備

問 用排水路は多面的に利用されている。改良区施設だからとして、農家負担で改修する時代ではない。知恵を出し県や国に働きかけるべきだ。

小森建設課長 土地改良法の

下で整備や管理がなされ、受益者負担の原則がある。

しかし、農家負担の軽減のため、補助をしている。

問 町内に流れる水路で問題となる川は何本か。横山用水路の溢水対策および改修の計画はあるか。

建設課長 幹線水路では横山用水の一本と認識している。

来年度から国の補助事業で、水門調整、余水吐き水路の有効利用を検討している。溢水対策事業なので、地元負担は

ない。

問 2級河川指定や準用河川指定の考えはないか。

建設課長 県での審査が厳しく、申請できる河川はない。

準用河川についても、「市街化が進み農業用水路の機能を果たしていない」と確認されなければ、指定は難しい。

今後の維持管理については、県や国に新規に補助事業を要望していく。



前田常作氏 作の「マンダラの塔」(役場前)



アワビ養殖は中止を含め抜本の見直しを

松田 俊弘 議員

商工水産・
深層水課長

軌道に乗るよう一層の支援をしていく

問 平成15年、養殖アワビの大量死などで、町は入善漁協に5000万円の赤字補てんを行い、今年度も1000万円を補助した。

町 漁協が互いに責任をなすりあい、惰性で続けているとしか思えない。中止を含めた抜本の見直しが必要だ。商工水産・深層水課長 アワビ養殖は、販売数量や販売金額の低迷、燃料費の高騰などで、8月末から養殖施設での養殖は休止しており、蓄養施設で続けている。今年度の収支も非常に厳しくなるのではとのこと。

漁協と町の職員が、県内のホテルや料亭などの販売先を確保するため、必死に努めている。

漁協は、一日も早く軌道に乗せたい考えであり、町も一層の支援をしていく。

災害時の非常食料や飲料水を常備せよ
各家庭で3日程度の備えを願う

問 地震学者によると、魚津断層帯が入善の市街地を走っている可能性が高い。町内での調査は検討されているか。
また、非常用食料や飲料水を常備すべきだ。

津波対策に、防災林整備の促進と管理の強化を求める。春日海岸での松の立ち枯れ対策を徹底せよ。

建設課長 魚津断層帯の国の調査結果が今年度末に出るので、その結果を待って対応を決める。

非常食や飲料水などは、町では備蓄はしていない。各家庭で3日程度の備えを願いたい。災害時は緊急調達、緊急

炊き出しを実施する。
防災林の管理は、町と県であいまいになっているので、県と協議する。春日地区での松枯れは松食い虫によるもので、5月連休まで対応する。

消雪装置の電気料、設置費は全額町負担で
これまで通りで理解を願う

問 消雪装置の電気料は全額町の負担とし、学校など主要な公共施設につながる道路での設置費用も、全額町負担にすべきだ。

除雪車の出勤が遅れないように対策を強化せよ。
温暖化で委託業者の出勤回数が減り、委託料収入の減少で、除雪機械の維持管理費などが負担となっている。

業者がかける保険料などの基本的経費は、出勤時間とは

別に払うべきだ。
建設課長 消雪電気料の負担については、町の要綱で定めた内容で、協力をお願いしている。設置については、地区や個人の受益は大きく、これまで通りで理解をたまわりたい。除雪については、特に通勤時間帯に対応した除雪を基本に努めたい。
業者の保険料などの経費は、除雪単価に含んだものとして算定しており、業者が負担すべきもの。



連日の除雪作業におおわらわ

学校給食の共同調理方式案 父兄・児童への対応は万全か

大橋 美椰子 議員



教育長

理解が得られるよう最大限努力する

問 「学校給食検討委員会」が町に中間報告を出した。それによると、拠点校で調理し他校に配達する共同調理方式およびモデル校での民間業務委託の試行という案である。

父兄、児童への対応は万全か。

教育長 適切な時期に実施するという案が出されたところである。

中間報告に対し理解が得られるよう最大限努力する。

教育の立場から考えた学校給食とは

教育的役割に、今後とも後退があってはならない

問 学校給食の改革とは、自校方式を共同方式に変えることだけなのか。教育の立場から考えた町の考えを示せ。

教育長 学校給食は、教育の一環として重要な役割を果たしている。

中間報告では、これからの運営のあり方について、報告を受けた。

「学校給食の教育的役割に、今後とも後退があってはならない」という基本的な考え方で進めたい。

移送サービスの運営協議会は設置できるのか

福祉有償運送の許可要件が厳しく設置要望はない

問 これまでの障害者などの移送サービスが制限されることになった。

有償の場合は、市町村が設置する運営協議会で所定の協議を経て、運輸支局から福祉有償運送の許可が必要だ。

猶予期間は18年3月までで、移送サービスを行っている社会福祉協議会などが対象になり、早期の対応が必要だ。

対応策の一つとして運営協議会の設置は可能か。

鍋谷健康福祉課長 大変厳しい許可要件が付けられ、どの事業所からも具体的に設置要望がない状況である。

許可を要しない方法での事業継続を検討している。

問 移送サービスの代わりに、該当者へ配布する福祉タクシー券を増額する考えはないか。

健康福祉課長 移送サービスはニーズも高いことから、各事業所との連携を図りながら、相談などに対応する。

三位一体の改革による町への影響はどうか

サービス低下や住民負担増となることなく対応する

問 三位一体の改革により、小中学校費、児童手当、施設費など、国庫負担金が削減されたが、町への影響はどうか。町長 経常的なもので試算すると、児童手当や公営住宅家

賃対策補助などで約4000万円以上の影響になる。内容が不透明であったり国の負担率の引き下げに留まったものもある。これらの改革により今後の確実な税源移譲が前提となるが、必要な施策については、決してサービス低下を招くことなく、また住民負担増となることなく対応する。



喜ばれる移送サービス



行財政改革と職員定数の見直しは

鬼原 征彦 議員

町長

聖域を設けず定員を削減する

問 まちづくり懇談会において、町長は5年後に職員を37人減らし264人にする公表したが、その根拠は。

答 今後の対応を示せ。総務課長 安全・安心のまちづくりのため、電柱のない通学路などは、電力会社や地元の協力を得ながら、できるだけ早く整備したい。

類似の町と比べ、保育部門、学校部門での職員数が多い。

このたび「保育所運営検討委員会」「学校給食検討委員会」からそれぞれ中間報告を受けた。

これらを踏まえ、聖域を設けることなく、一層の行財政改革に取り組む。

無電柱地帯の防犯灯整備を

通学路などで整備したい

問 本町の防犯灯整備は進んでいるものの、集落の境目などの電柱がない所では、整備が不十分である。

自主防災会の充実強化を

防災組織の連絡会をつくる

問 本年度3地区に自主防災会が発足し、全地区に整備された。

今後、防災会の充実強化をどう進めるのか。

総務課長 3地区の防災倉庫の整備や、自主防災組織相互の連携強化を図るため連絡会を設置する。

今後は、「自助・共助・公助」の観点で、地域防災力の向上になると考える。

学校安全パトロール隊との連携は

関係機関で情報の共有を

問 学校安全パトロール隊の結成や地域ぐるみの組織づく

りが整備されつつあるが、関係機関とこれらの組織との連携はどうか。
小森学校教育課長 4つの小学校区で学校安全パトロール隊が結成され、残り2校区も本年度中に結成される予定だ。

不審者情報などについては、学校、警察、PTA、安全パトロール隊などでの情報の共有を図り、地域ぐるみで安全対策を推進する。

子育て支援センター設置を

児童センターに設置する

問 若者が結婚や子育てに夢や希望がもてるまちづくりが必要である。

子育て支援センターを立ち上げ、総合的な施策の推進が必要ではないか。
健康福祉課長 町内でも子育てを相談できる人がいないとか、育児不安や孤立感を持つ親が増えている。

新年度、児童センター内に子育て支援センターを設置し、総合的な子育て支援を行う。



地域ぐるみの防犯パトロール隊（新屋地区）

8号バイパスに隣接する 町有地の利活用は

松 沢 孝 浩 議員



町 長

平成18年度末の開通に伴い 多様な利用方法を検討したい

問 青木地内の国道8号バイパスに隣接する町有地の利活用を示せ。

町長 平成3年に土地開発基金を利用し取得した土地である。バイパスの代替地や農業振興対策として、「ふる里産品センター」建設用地など、地域活性化を図る上で先行取得した。

その後、代替地として要望がなかったことや農振除外が困難なこともあり、実証田として球根原種圃や緑肥効果のある「ひまわり」の植栽などに活用している。

平成19年3月には、国道8号バイパスが開通することもあり、農業振興や住宅対策、防災対策など多様な利用方法を念頭に、関係機関と協議しながら有効活用を図りたい。

問 町が利用していない普通財産の取扱いはどうするのか。
町長 具体的な利用方法が決まっていない普通財産については、維持管理費の削減という観点から順次売却を行っている。

平成16年度では、公募入札により売却を行った。行財政改革の事務事業見直しの一つとして位置づけており、今

後も積極的に取組んでいく。

8号バイパスのガードに
街路灯の設置を

町が窓口となり地元の見を国に要望する

問 8号バイパスと交差する道路のガードには、街路灯が設置されていない所が多い。通学路として利用している

道路に、設置するよう国交省に対し要望すべきだ。

建設課長 通学路となっている町道3路線には、街路灯がある。魚津国道出張所によると、特に設置基準はないが、学校と相談の上、通学路に設置しているとのこと。

また、バイパスの供用開始後に、通学路を変更した際には、地元や町などの要望を踏まえ設置したケースがあるとのこと。

町が窓口となり地元の意見を国に要望していく。

町内企業や中小企業への支援をどう図るか

商工業振興条例に基づく
企業立地助成制度を活用

問 町内の意欲ある企業への

支援策をどう図るか。

助役 工場など新設や増設を推進することから、設備投資や新規雇用者の状況により、町の「商工業振興条例」に基づく企業立地助成制度を設置している。

この制度は、工場の立地や増設に対する助成を中心に、さまざまな整備などに対する

支援策を盛り込んだものであり、町内企業の支援策として活用している。

今後も中小企業や町内企業の相談窓口となり、国、県、町の持つ支援制度のPRに努め、商工会や各企業と情報交換を行いながら、町の商工業の振興を図っていく。



町有地に広がる“ひまわり”実証田（青木地内）



観光資源を活用して交流人口の増大を図れ

中瀬 範 幸 議員

商工水産・
深層水課長

自然景観、芸術・文化・スポーツ、産業活動の
相乗効果を図る

問 黒部川扇状地は、随所に誇れる観光資源を有している。これを活用しての交流人口増大は、重要課題である。

それらに点在する観光資源を線で結び相乗効果を出し、さらに地域連携による立体的な活用策を示せ。

商工水産・深層水課長 まず「沢スギ」やフラワーロードなど、扇状地に広がる自然景観を活かす。

第2に「ふるさと七夕まつり」や「下山発電所美術館の企画展」など、芸術・文化・スポーツを推進する。

第3にNEC、アイシン新和、サンリッツなどには多くの来訪者があり、大きな情報源になる。

これら産業活動の有効利用などによる、相乗効果を考えたい。

発協議会」メンバーとして広域的な観光PRを行い、交流人口の増大を図っていく。

年間を通じたフラワーロードイベントの企画は

四季の花をイベントとして結ぶことは難しい

問 フラワーロードの存続は圃場確保、集団栽培など課題が山積している。

しかし、町には、愛好家による椿、桜、ひまわり、藤の花、コスモス、菊など四季を通じて花が美しく豊富である。

平成18年の10回目を区切り、フラワーロードを發展させ、年間を通じてのフラワーロードイベントとして企画できないか。

商工水産・深層水課長 町には四季それぞれに「花」を紹介した愛好家による展示会やイ

ベントが開催されている。

ただ、四季折々の花をイベントとして結ぶことは難しく、個人や団体の情報交換のなかで相乗効果を発揮できればと思っている。

「水の小径」をホテルの名所にできないか

地域の協力が得られれば検討したい

問 「水キラキラ入善」のシンボルとして「水の小径」に

きれいな地下水を流し、ホテルの名所にする考えはないか。

助役 ホテルの幼虫のえさとなるカワニナの生息や、川辺に湿地やコケ、雑草の繁茂などホテルにとっての棲息環境を維持する条件がある。

地域の協力が得られれば検討したい。

早急に観光協会を結成すべきでないか

関係団体と十分協議し新しく立ち上げたい

問 16年、観光振興を目的に「入善町観光関係団体協議会」

が発足した。職務多忙の町長が会長を担えるか疑問である。早急に観光協会を再結成すべきでないか。

商工水産・深層水課長 関係団体と十分協議を行いながら、新しい観光協会を立ち上げた



北アルプスを背景に満開のチューリップ

児童センターでお友達がいっぱい

入善町に移り住んで



舟川理恵さん

入善町青島在住

転勤で高知県に来ていた夫と知り合って、5年前に結婚しました。夫は長男なので、いずれは入善へ帰るものと覚悟はしていました。

入善町と高知との自然環境がよく似ていることと、年に3回は入善へ帰っていましたので、住むことに不安はなく、平成16年10月戻ってまいりました。まず驚いたことは、高知での10月は半袖でしたが入善は寒く、一挙に冬物への変化に私は慌てました。

児童センターの「ちびっこ広場」へ週一回参加しています。友人のいなかった私です。が「ちびっこ広場」へ参加するようになって、同年代の仲間達にも出合えました。心強い味方ができて楽しく過しています。

娘も入善で成長しています。これからは、私のできることで地域行事に参加し、地元にとけ込んでいきたいと思っています。

入善町民2年生、今後とも宜しくお願い致します。

入善のむかし話 (森 清松編より)

猫のはなし

吉原の庄和どんの猫を、「おつま」といいました。

ある日、家の人がいけない間に、そば粉で、やき餅をこしらえてたべたところ、あわてたのでやけどをしまいました。

そこで、やけどをなおすために、温泉へ湯治に行きました。ところが、お金を持っていかなくなったので、家の名をいって借りて帰りました。まもなく、温泉宿から金をとりにきました。だれもいっただいませんと、すると、

「ああ、この着物をきた女の人だった。」と、宿の人が、着物かけにかかっているのを指さしました。

それには、猫の毛がいくつかいくついていたということです。



編集の窓

昨年12月からの記録的な積雪で、町も家庭も除雪に奮闘しています。事故なきよう祈る毎日です。

年末の29日には、入善スマーティンターチェンジが再開通しました。

買物やお仕事、レジヤーにとおおいに利用してください。2月には冬季五輪がトリノで開催されますが、日本選手団の活躍が期待されます。

議員一同、皆様の負託に応える力強い一年へと、日々精進してまいります。

皆様にとって幸多き年となりますようお祈りいたします。

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 元島 正隆 |
| 委員長 | 松澤 孝浩 |
| 副委員長 | 松田 俊弘 |
| 委員 | 大橋美椰子 |
| 〃 | 長田 武志 |
| 〃 | 中瀬 範幸 |
| 〃 | 鬼原 征彦 |